

第 32 回大分 NST 研究会 報告

平成 3 年 6 月 19 日土曜日“第 32 回大分 NST 研究会”を開催しましたので報告します。今回は、JCHO 南海医療センター（佐伯市）の当番世話人で開催、実は 1 年前令和 2 年 6 月に開催予定でしたが、大分県においても新型コロナウイルス感染症蔓延のため延期となり、1 年越しで当番世話人を担当し開催することができました。

今回の開催にあたり、“開催形式”、“研究会プログラム”、“研修単位の取得は可能か？”について検討しました。まず検討したことは“開催形式”で、従来通りの集合形式を第一希望で計画しましたが、新型コロナウイルス感染症の収束は到底期待できる状況ではなく断念しました。第二希望としては、佐伯にメイン会場を開設しオンラインでも視聴できるハイブリッド開催を計画しましたがこれもかなわず、最終的には完全オンライン開催と決定しました。次に“研究会プログラム”ですが、特別講演は昨年お願いしておりました“ちゅうざん病院副院長 吉田貞夫先生”が今年も快諾してくださりすぐに決定しました。一般演題に関しては、開催形式の第一希望が集合形式としていましたので“募集する”ことにしていました。しかしながら前記しましたように、新型コロナウイルス感染症の収束が到底期待できる状況ではなく、とても悩みましたが“研修単位の取得”というところに影響してくることがわかり、オンラインでの発表は初挑戦となる不安はありましたが、一般演題を募集することとしました。ということで、一般演題は 9 題応募があり、全て事前に発表音声付きスライドを作成いただき提出いただきました。発表された先生方におかれましては、提出期限内に全て提出いただき、準備する方としてとても助かりました。ありがとうございました。最後に“研修単位の取得は可能か？”について、集合形式の時には研修単位取得ができていたのですが、オンライン開催でもそれが可能か？という問題が浮上しました。各種認定取

得のための“研修単位”が必要な方々のため、本研究会での研修単位取得は欠かせないものであろうという認識のもと、新別府病院栄養管理室長 田崎先生の学会への交渉の末、“日本臨床栄養代謝学会認定研究会”としての2単位取得が可能となりました。しかし研究会への参加記録が必要なため、参加申込者と当日のオンラインへの参加ログイン記録との照合が必要であり、少し大変な作業かなと考えています。

さて研究会当日は、13時30分より世話人会を行ったのち、14時30分より第32回大分NST研究会～テーマ“高齢者の栄養管理”～を開催しました。一般演題9題を新別府病院外科部長 田島正晃先生、栄養管理室長 田崎亮子先生の座長で進行していただき、特に問題なく進みました。特別講演は、私 JCHO 南海医療センター 森本章生の座長で、ちゅうざん病院副院長 吉田貞夫先生に“2021年、高齢者のケアと栄養サポートの将来を考える”という演題でご講演いただきました。内容豊富でしたがとても楽しいご講演で、あっという間に時間が過ぎてしまいました。

今回はオンラインでの開催という試みで、始まるまでは不安なこともあったのですが、いざ始まると特に問題なく終えることができ、これもひとえに大分NST研究会世話人の先生方ならびに発表者の方々、株式会社クリニコ様のご協力の賜物と感謝する次第であります。本当にありがとうございました。

JCHO 南海医療センター NST

森本章生、谷口公章、成松 聖



ちゅうざん病院副院長
吉田貞夫先生



濃い内容をリズミカルに楽しくお話し
いただきました



当番世話人
JCHO 南海医療センター病院長
森本章生先生